

# はつらつ座安っ子



【学校だより: 令和2年5月 第2号】  
豊見城市立座安小学校 校長: 具志直哉

## なかよく かしこく たくましく

～主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け、夢や目標を持って生きる子～

座安小学校の全職員は、子どもたち1人ひとりを認め、受け入れ、持っている「可能性を拓き伸ばす教育」の実践をめざし、全力でがんばります！

## 「なかよく かしこく たくましく」！

今回は学校教育目標についてお話ししたいと思います。

「なかよく かしこく たくましく」は、110年余の間、地域と共にある座安小学校に受け継がれてきた学校教育目標のキャッチフレーズです。

なかよくできる子      かしこい子      たくましい子

「徳」・「知」・「体」と並んでおり、何よりも「徳」、人としての生き方、人間性を重んじている学校教育目標であることを誇りに思います。心が育てば、「知」や「体」は自ずとついてくると言うからです。私は、学校長としての責任を持って、この学校教育目標を受け継ぎ、教職員と協働して、座安っ子を「なかよく かしこく たくましく」育てられるよう、尽力していきたいと思っています。

さて、学校教育目標は時代に合った解釈ができるように、柔軟に掲げられています。私は以下のように、学校教育目標を捉えています。



### ○なかよく … 主体的に他者と協働できること

主体的とは、自分の考えや意思をしっかり持って行動できることを言います。他者とはお友達や先生だけでなく、地域・社会の方々を含みます。学校や社会で、対話等を通して他者と協働できる力をつけることが目標です。それが、あらゆる問題解決や自己実現へとつながるからです。そのために重要で、本校の教育の根底にあるものが「聴くこと」です（メルポンでも紹介しています）。座安小の全教職員は、「聴くこと」の大切さを共有しています。子ども達一人ひとりに全教職員で関わり、根気強く子ども達の声に耳を傾け、子どもたちの聴く力や自己有用感の育成を通して、主体的に他者と協働できる子ども達を育成していきます。

### ○かしこく … 豊かな学び方を身に付けること

かしこい子とは、学び方が身についている子だと思います。人は「人・本・旅から学ぶ」と明言したのは、ライフネット生命代表取締役の出口氏です。最近はこのにユーチューブなども含まれるのではないのでしょうか。子どもにとって旅とは、勤労・奉仕・宿泊等いろいろな体験活動全般を含んでいるでしょう。つまり学ぼうと思えば、身近に多くの学びの手段があるということです。学びは次の学びにつながります。学びが深まるほど学びが楽しくなり、学び上手になります。そして学び方を身に付けた子は、目の前の課題を解決する方法をも手になります。「かしこい＝知恵＝問題解決力＝学び上手」と思いませんか？

学び方を身に付けるための基礎・基本は「理解力」です。当然と言えば当然です。その中でも小中学校で重要な基礎・基本は「読解力」でしょう。すべての教科は教科書という本を活用



して学ぶからです。座安小ではまず「読解力」をすべての児童につけます。読解力の育成を通して、書く力、表現力等々へとつなげていきます。

### ○たくましい子 … 夢や目標を持って生きること

夢や目標を持っている子には、生き生きとした活力（パワー、たくましさ）を感じます。夢や目標は何も「医者になりたい」「プロ野球選手になりたい」など、具体的でなくてもよいと思っています。むしろ小学生で具体的な夢を持つことはかなり難しいことです。そうではなくて、『何か自分が役に立つことをしたい』『やりたいことができるだろう』など自分への希望を持ってほしいのです。私は幼い頃、かなり成績の悪い子でしたが、中学2年生の時に個人面談から帰宅した母親に「担任の先生があなたはやればできる子だってとっても期待していたよ！」と言われて、「俺はやればできる男だったんだ！」と単純な私は舞い上がり、嬉しくなって、勉強や部活、いろいろなことを積極的に頑張れるようになった過去があります。夢や目標は具体的であることが理想ですが、未来への希望こそ大切です。未来への希望は自分への信頼と期待感から生まれます。ここでも「聴くこと」を通して子どもを認め、受け入れ、自分で判断して行動させることを通した自己有用感の育成が欠かせないと思います。右の絵は、「座安っ子キャリアパスポート」というノートの表紙です。子ども達が学校や家庭、地域での様々な活動を通して、夢や目標へと歩いていくイメージを絵にしました。向こう側に見えるのは「どこでもドア」です。子ども達はどこへでも行ける、何にでもなれる夢や目標、そして希望があるのです。



コロナウイルス感染防止対策による学校休業が長引き、子ども達の学力や体力面、基本的な生活習慣の乱れなどを心配する報道が後を絶ちません。けれどそれでも私は、本校の職員と座安っ子の力を信じます。学校が再開したときに、昨年度以上に、座安っ子の「なかよく かしこく たくましく」生きる力を、焦らず全力で育成します。

### 命を守る！学校生活を続ける！～新しい学校生活様式「ざやすスタイル」～

学校再開に向けて、持続可能な学校生活ができるよう、本校では見出しの「ざやすスタイル」を作成しています。たたき台はできつつあります。後は子ども達と授業を通して話し合い、子ども達が主体的に協働して守ることができる「ざやすスタイル」に仕上げたいと考えています。できあがりしたら、各家庭へお届けします。



### 心を受けとめる教育！

最後に私の教育理念の根幹になっている、沖縄県教育委員会元教育長、金武正八郎氏のコメント「H22教育委員会ホームページより、一部抜粋」したものを紹介します。

私が教育の場や地域社会で大切にしたいことは、「心を受けとめる教育」であります。「子どもの心を受け入れ、受けとめ、子どもに存在感を持たせる教育」のことであります。そのためには、愛情を持って子どもをまず受け入れることだと思います。子どもが人として受け入れられ、大切にされていると感じさせることです。大切にされていると感じさせることによって、子どもは存在感をしっかりと確立するのです。そしてお互いの信頼が生まれます。信頼が生まれて初めて、教育が始まり、子どもは学び、自ら成長していくものです。どんなときにも、どんな事態が起きても、どんなことがあっても親に愛され、社会に愛されていることを子どもが実感できる教育環境を学校・家庭・地域社会全体で作っていきなさいと思います。